

ブランド「HITOYOSHI」高級シャツ



人吉の技術 東京で人気

親会社の経営破綻を乗り越え再出発した人吉市のシャツ縫製会社「HITOYOSHI」が、初の自社ブランドとなる高級シャツを、このほど全面改装した東京・有楽町の百貨店「阪急MEN'S TOKYO」で販売開始した。高い縫製技術と工場直送の手ごろな価格が都心のビジネスマンに注目され、早くも人気商品になっている。

親会社破綻乗り越え

同社の前身は、元トミヤアパレル(東京)ミヤアパレル(東京)の出先工場で、1989年から高級シャツを製造。2009年にトミヤアパレルが経営破綻したが、「評価の高い技術を存続させたい」と役員らが自社買収(MBO)の手法で新会社を設立した。

再出発後は100人

↑
自社ブランドの「HITOYOSHI」シャツを商品化した吉國社長(右)と阪急百貨店の前田さん
東京・有楽町

10月15日に新装開店した同百貨店の売り場には、工場の歴史を紹介するパネルを掲げ、生地や立体裁断にこだわったシャツ10種類が並ぶ。販売開始から約2週間で100枚以上を売り上げ、工場で追加生産している。1年かけて仕様やアイデアを練り、「縫製のこまかさがきかない」「着心地が良い」と2枚目、3枚目を買いたい求めている」と

前田さん。吉國社長も「グローバルに活躍するビジネスマンに評価してもらい、ありがたい。今後はHITOYOSHIの技術を世界に発信したい」と話している。

(渡辺哲也)